

令和5年度 棚倉町立近津小学校
キャリア教育CDプラン
(Connect Dream)

児童の実態

- 素直で明るい ○勤労を苦にしない
- あいさつができる
- 自分のよさを伸ばそうとしない
- まじめだが受身である
- 人間関係が固定化している

方針

- 教師自身がキャリア教育に対する意識を高め、アイデアを生かした実践を行う。
- キャリア教育の視点で様々な教育活動を見直し、内容や指導の改善を図ながら充実した実践を展開していく。
- 児童の変容を行動や意識調査等で把握し、指導に生かす。
- 保護者や地域の方々へもキャリア教育の必要性等について理解を深める。

教育目標

- 志高く、確かな目標をもち、自己を磨く、しなやかな子どもの育成
- 進んで学ぶ子ども（知）○思いやりのある子ども（徳）○明るく元気な子ども（体）

目指す児童像

- 気づき、考え、実行する子ども ○いやなことでも最後までやり通す子ども
- 自分や相手のよさを理解し認めることができる子ども
- 自分を振り返りよさを伸ばすために努力する子ども

キャリア教育の重点

- 生きる力を育み、将来に向けて自立できる児童を育成する
 - ・一人一人の基礎的・汎用的能力を育成する
 - ・前向きに生きていく意欲を育てる
 - ・郷土を愛する心を育てる

教育基本法・学校教育法・学習指導要領

- 第7次福島県総合教育計画
「急激な社会の変化の中で自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性を生かし、対話と協働を通して、社会や地域を創造することができる人」の育成
- 県南教育事務所の施策等
- 「夢と希望をはぐくむ県南の教育」

- 棚倉町教育委員会の施策
- ・棚倉町「CDプラン」
- ・キャリア教育プラン
- ・いじめ対策ビジョン等

前向きに生きる意欲を育む

- 満足感・達成感を味わわせる活動の重視
 - ・児童主体の活動の重視
(生活科・総合的な学習の時間、児童会委員会活動の充実等)
 - ・学習や活動の振り返りの重視
 - ・縦割り班による活動の充実（ふれあいタイム・清掃等）
 - ・自分で気づき・考え・実行する体験の奨励
- 夢や目標につながる体験活動の充実
 - ・キャリア教育の視点からの体験活動等の見直し
 - ・外部講師の活用、教育実習生の受け入れ、人との交流
 - ・幼、小、中の交流・連携
- 望ましい職業観・勤労観の育成
 - ・ドリームマップ授業
 - ・チャレキッズ in 棚倉への参加
 - ・奉仕活動・栽培活動等の実施

「生きる力」の基盤となる能力を育む

- 各教科における基礎的・汎用的能力を意識した授業の展開
 - ・問題解決的な学習の重視
 - ・授業案等への基礎的・汎用的能力の位置づけ
 - ・ICTの活用
 - ・学校図書館の積極的な活用
- 児童主体の活動や相手意識が育つ活動の重視
 - ・話し合い活動等の積極的な導入
 - ・児童が主体となって取り組む時間の確保
 - ・振り返りの場の設定
- 交流学習の充実
 - ・セカンドスクール（5年）
 - ・町交流宿泊学習（6年）

郷土を愛する心の育成

- 地域を知る学習の充実
 - ・地域探検等、地域のよさを生かした学習活動
 - ・地域の歴史について学ぶ取り組み
 - ・生活科・総合的な学習の時間の取り組み
- 郷土を愛する心の育成
 - ・地域貢献を意識した活動、奉仕作業等の実施
 - ・地域の行事やイベント等への参加
- 地域との連携
 - ・地域人材の積極的な活用（学校支援ボランティアの活用）
 - ・学校支援コーディネータとの連携
 - ・近津商店会、育成会等
 - ・学校運営協議会との連携・情報交換等
 - ・「ちかサポ」との連携

共通実践事項

- 児童主体の学習や活動への改善
 - ・校内授業研究会（一人一研究授業）の実施
 - ・共同研究（国語科授業）の充実
- 「振り返り」の重視と変容の把握（自己理解）
 - ・意識調査の実施
 - ・ノートや振り返りカード等の工夫
- 行事等における事前・事後指導の充実
 - ・目的意識を重視した行事や活動
 - ・達成感・満足感と次の活動への意欲

学校・家庭・地域の連携

- 地域人材・地域素材の活用（近津地区学校支援協議会等）
- 学校運営協議会との連携
- PTAとの連携

指導力の向上

- 各種研修会への積極的な参加
 - ・先進校への視察・伝達講習等
- キャリア教育に関する校内研修の実施

開かれた学校づくり

- キャリア教育をベースにした教育活動についての情報の提供
 - ・ホームページ・学校・学級だより
 - ・授業参観・授業公開・実践のまとめとプレゼン